

令和4年  
1月1日発行

80号

2022.1月

甲斐市社協だより

# かがやき

KAGAYAKI



子ども食堂(12月)



社会福祉法人

甲斐市社会福祉協議会

<https://www.kaishakyo.or.jp>



人と人がつながり安心して暮らせる  
福祉のまちづくり



# 新年おめでとうござります

甲斐市社会福祉協議会 会長 **進藤 一徳**



令和四年の年頭にあたり 皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスそして東京2020オリンピック・パラリンピックと歴史に残る年であったと思います。

コロナ禍は長引き 私達の希望的な予測を裏切り続けました。

甲斐市社協でも数多くの事業が影響を受け、市民の皆様にお届けする福祉サービスが滞る事態が長期化してしまいました。一方、コロナ対策として生活福祉資金の特例貸付、また子ども達への春・夏・冬休みの食料や生活用品の支援に加えて、初めての試みとして子ども食堂も都合四回開設することが出来ました。こうした取り組みに市民の皆様から温かいご支援ご協力をいただきました。改めてお礼申し上げます。

オリンピック・パラリンピックは感染拡大の中で開催されました。世界のアスリート達の活躍、日本選手団の数多くのメダル獲得に国中が沸き感動しました。しかしコロナも猛威をふるい続けました。

ところで、半世紀以上前の東京五輪。県境長野県の中学生だった私は、山梨への聖火を送り 競技に熱狂し、忘れられない高揚感に包まれたものです。当時は三世代七人暮らし。周囲も同じような家族構成、暮らしぶりが殆どで、人や地域とのつながりは濃密なものが当たり前の日常でした。

今の時代、少子高齢化や家族形態の変容、人口減少や格差が進み、つながりの希薄化や社会的孤立が問題になっています。

こうした中で甲斐市社協では、この四月から今後五年間の社協の行動指針となる『第三次地域福祉活動計画』をスタートさせます。

誰もが住み慣れた地域で心豊かに平穏な日々を積み重ねていくことが出来るように、そして福祉サービスを必要とされる住民の方々にサービスが行き届くように、役員一同力を合わせて取り組んで参ります。

本年も引き続き皆様のご理解とご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 10月26日(火) 公益財団法人みずほ教育福祉財団様より配食用小型電気自動車「みずほ号」の寄贈がありました

公益財団法人みずほ教育福祉財団（理事長：塚本隆史）様はわが国の文化の発展、社会福祉の増進に寄与することを念願し、初等中等教育並びに社会福祉に関する事業に対しての助成を行っています。

その助成事業の一つに配食用自動車寄贈事業があり、今回の寄贈となりました。

高齢化社会の急速な進展の中、配食サービスは一人暮らしの高齢者等の介護予防や、安否確認並びに孤独感の解消等の役割を担っており、ますます重要な福祉サービス活動となっています。

こうした調理、配食、友愛（会話・安否確認等）一連のサービスを積極的に行っている民間団体に対し配食用小型電気自動車『みずほ号』を寄贈されています。

なお、本事業は、みずほフィナンシャルグループ役員有志からの募金を主たる原資とされています。

今回の環境にやさしく利便性に富む小型電気自動車の導入により配食サービスのより良い提供に向けて努めていきたいと思っております。



# 甲斐市社会福祉のつどいを開催しました

11月13日(土)甲斐市敷島総合文化会館において、第12回社会福祉のつどいを開催しました。昨年は、コロナ禍で開催することができませんでしたが、今年は、感染対策をとりながら、規模縮小・時間短縮とし開催することができました。

長年にわたり地域福祉に貢献のあったボランティアの皆さんの功績に対し、表彰状及び感謝状の贈呈、また福祉ポスターの入選者の表彰を行いました。

来賓者として、飯沼福祉部長様及び山本市議会議長様から、受賞された方々へのご祝辞をいただきました。

その後、記念講演として今年6月に県ボランティア協会会長に就任された田辺光正氏による講演をいただきました。



## 甲斐市社会福祉協議会 会長表彰・感謝状 被表彰者一覧

### ● ボランティア活動功労 (個人)

氏名	功績の概要
秋山 政子	配食サービスボランティア
磯部 ひろ美	配食サービスボランティア
小林 みどり	配食サービスボランティア
白倉 克子	配食サービスボランティア
杉田 幸子	配食サービスボランティア
内藤 進	配食サービスボランティア
深澤 勝	配食サービスボランティア
矢ノ下 京子	配食サービスボランティア
米山 方子	社協デイサービスボランティア
坂本 直江	赤十字奉仕団
佐藤 紘子	赤十字奉仕団
清水 文香	赤十字奉仕団
鶴田 良子	赤十字奉仕団
信田 千束子	赤十字奉仕団

### ● ボランティア活動功労 (団体)

(順不同・敬称略)

団体名	功績の概要
朗読サークル もみの木	朗読を通じた地域福祉 ボランティア

### ● 金品寄付感謝状 (個人)

氏名	功績の概要
生山 勝	多額の浄財寄付
三枝 やよい	多額の浄財寄付
古屋 明美	多額の浄財寄付

### ● 金品寄付感謝状 (団体)

団体名	功績の概要
釜水経営者会	多額の浄財寄付



## 記念講演 テーマ ～未来へつなぐ地域のかたち～

山梨県ボランティア協会会長の田辺光正氏により、長年福祉の最前線で働いてきた経験から、実体験を交えながら、ボランティアは特別なことではなく、できることをできる時にすることで、自分たちの安心できる未来のまちづくりにつながることを、参加している小学生にも理解しやすいように話してくださいました。

甲斐市在住で地域での活動も積極的に行っているため、より現実的で身近に感じられる内容でした。

最後の田辺氏がモットーとしている「地域福祉は地域に学び、在宅介護は当事者に学び、ボランティアは実践に学ぶ」の言葉が心に響いた講演でした。



令和3年度

# 福祉ポスター入賞作品

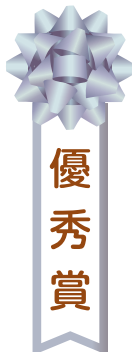
【敬称略】

「人と人がつながり安心して暮らせる福祉のまちづくり」をテーマに福祉に対する理解を深めていただくため、甲斐市内の小学4年生から6年生を対象に福祉ポスターを募集したところ607点の作品が寄せられました。入賞者には甲斐市社会福祉のつどいで表彰式を行いました。

コロナ禍の取り組みとして、ウェブ上で応募作品がみられるようになっていきますので、社協ホームページをご覧ください。



加戸進士郎  
(敷島南小)



安達 心  
(玉幡小)



佐藤 杏奈  
(敷島南小)



武井 愛莉  
(玉幡小)



内藤 希明  
(竜王小)



野口 琉愛  
(竜王小)



- 雨宮 星菜 (敷島南小)
- 長田 光生 (敷島南小)
- 神澤 未来 (竜王東小)
- 小宮山 姫愛 (玉幡小)
- 高見澤 瑠菜 (敷島南小)
- 長谷川 渚 (竜王南小)
- 平岡 夏海 (竜王北小)
- 藤原 空土 (竜王北小)
- 丸山 明莉 (敷島南小)
- 望月 那津 (敷島南小)

- 池津 瑠菜 (玉幡小)
- 小田切 蒼真 (玉幡小)
- 剣持 陽彩 (玉幡小)
- 鈴木 沙英 (竜王西小)
- 種田 愛子 (敷島南小)
- 花見 海翔 (玉幡小)
- 平野 優奈 (竜王東小)
- 古屋 美旺 (双葉東小)
- 三森 絢心 (竜王小)
- 山田 周平 (双葉東小)

- 石川 怜璃 (敷島南小)
- 数野 慧 (竜王北小)
- 小林 孝旭 (玉幡小)
- 鈴木 夢叶 (敷島北小)
- 中込 采弓 (竜王西小)
- 日向 紗那 (敷島南小)
- 廣瀬 菜緒 (竜王小)
- 細田 いろ葉 (玉幡小)
- 宮下 蒼琉 (双葉東小)
- 渡邊 莉緒 (敷島小)

## ◆◆◆ 福祉ポスター選考について ◆◆◆

福祉ポスターの審査にあたり、特に今年は出品数が多く、福祉に対する意識の強さに感心しています。さらに本年度の最優秀作品の「その思いやりが金メダル」については、オリンピックイヤーに合わせ、タイムリーな作品となっています。今年だからこそこの作品ではないでしょうか。アイデアとしては最高の作品です。

また、優秀作品の5点についても、思いやり、支え合う家族像、優しい心などが豊かに表現されていました。全般的に描画力も優れ、細部まで丁寧に仕上げる作品や、レタリングも工夫されている作品、構図や色合いなどの工夫が見られる作品など、例年以上の作品が多く、福祉に対する関心が深まったのではないかと思います。

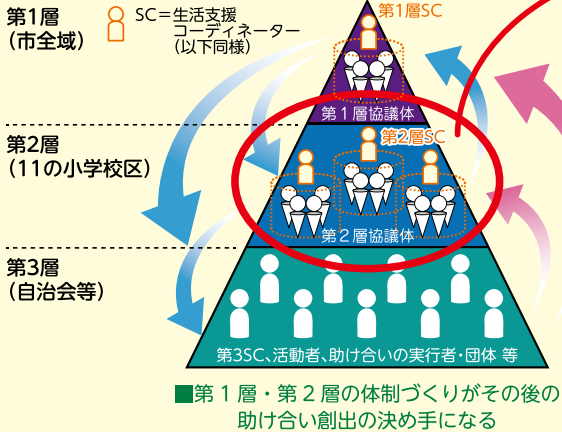
入選作品についても、各校での取組の成果もあり、多くの児童がこのポスターに取り組む中で、福祉に対する意識を高め、社会福祉全般を考える良い機会となったのではないのでしょうか。

### 住民同士の 地域づくり

# 甲斐市「地域のささえ合い」

甲斐市社協では、地域の皆様と協力して住民同士がささえ合える体制づくりを推進しています。住み慣れた地域で安心して元気に暮らせるように、地域のささえ合いについて話し合う場(協議体)を設置しています。

## 甲斐市のささえ合いの体制



## 市内11小学校区に2層協議体を設置

地域を良くしていくために一緒に考えたいという人は誰でも参加できます。甲斐市では2層を小学校区単位としています。

## 協議体

地域の方が中心となり、地域で生活しているからこそ気づく医療や介護などサービスだけでは解決できないような生活上のちょっとした困りごとや支援、気軽に集まれる居場所づくりなどについて話し合う場であり、地域を元気にする場でもあります。住み慣れた地域で、いつまでも元気に安心して生活するために、どんなささえ合いが必要か、自分たちにできることは何かなどみんなで話し合いをする場所が協議体です。

## ささえ合いの地域づくり

居場所づくりや地域での見守りなど「あったらいいな」と思う活動を地域の皆さんと一緒に話し合いの場を通じて考えていきます。ささえ合い活動ができる地域づくりを進めてみませんか。

### 話し合いの場づくり

地域の困りごとを解決するために必要なことは何か、ささえ合いや助け合いについて話し合い、地域にあった仕組みを考えていきます。

### 見守り・声掛け

日頃の生活の中で見守りや声掛けをすることで安心して過ごすことができます。孤立しない地域をつくります。



### 居場所づくり

体操やお話会など関心に合わせて地域の人が気軽に集える居場所を作ります。

### 困りごとのお手伝い

ゴミ出し、電球の交換などちょっとした生活上の困りごとを解決できれば住み慣れた地域で暮らし続けることが可能になります。

## ふれあいいきいきサロンボランティアリーダー養成講習会

10月19日(火)日本折紙協会会員講師 石見谷 紘氏による「コミュニケーションツールとして活用できる折り紙」と題して開催しました。午前、午後の2回に分けて行い35名が参加しました。折紙を通じて、多くの方とコミュニケーションが取れるよういきいきサロンに持ち帰り活用したいと、真剣に取り組まれていました。



甲斐市 社協 **ボランティア**じょうほう

# Go 甲斐 ボランティア

●甲斐市ボランティアセンター  
 (甲斐市社会福祉協議会)  
 ☎ 055-277-1122  
 ☎ 055-277-1284

2月1日より  
**開始**

## ボランティア・NPO活動推進月間

山梨県では毎年2月を「ボランティア・NPO活動推進月間」と定め、ボランティア・NPO活動の啓発・普及に取り組んでいます。

現在、甲斐市ボランティアセンターでは、多くの市民の方や団体にボランティア登録・活動していただいています。

是非この機会にあなたに合ったボランティア活動をはじめてみませんか？

### ボランティアの始め方

ボランティアセンターでは、ボランティア活動の情報提供や「何ができるのか」「何をしたいのか」を共に考えていくボランティア相談を行っています。

ボランティアに少しでも興味がある方は是非お電話ください！

### ボランティア基礎講座のお知らせ



ボランティアセンターでは、2月の推進月間に合わせてボランティア講座を3回開催します。

### 第1回 ボランティア基礎講座

**日時** 令和4年2月13日(日)  
 午前9時30分～11時  
**場所** 敷島保健福祉センター  
**内容** 高校生団体「LINK」の前代表の入倉聖さんを講師に招き、学生だからできるボランティアについて学びます。  
**定員** 30名

### 第2回 ボランティア基礎講座

**日時** 令和4年2月17日(木)  
 午前9時30分～11時  
**場所** 敷島保健福祉センター  
**内容** 他市の事例発表などを踏まえ、今だからできるボランティアについて学びます。  
**定員** 30名

### 第3回 フォローアップ講座

**日時** 令和4年2月21日(月)  
 午前9時30分～11時  
**場所** 敷島保健福祉センター  
**内容** 山梨県傾聴ボランティア連絡協議会の塩澤一夫さんを講師に招き、ボランティアをする上で役立つ「傾聴」について学びます。  
**定員** 30名

＝各講座の申込は、1月5日(水)より電話にて受付開始＝

ぜひ、この機会にボランティア講座からボランティアをはじめてみませんか？

## ボランティア協議会からお知らせ

### 集まった未使用タオルは、甲斐市ボランティア協議会が施設にお届けしました

社協だよりかがやき8月号にて募集した未使用タオルが850枚集まりました。

今年度も皆様からたくさんの寄付をいただきました。ご協力ありがとうございました。

集まった未使用タオルは、甲斐市ボランティア協議会に仕分け・配布を依頼し11月15日に役員が集まり仕分けをしたのち、今回は市内の11福祉施設に配布することができました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、福祉施設でのボランティア活動が難しい現状ではありますが、ボランティア協議会と連携し、今後ともニーズに沿った活動を推進していきます。



# 農産物(野菜・果物等)を有効活用しています! 双葉農の駅~食品ロスをなくそう~



双葉農の駅(甲斐市宇津谷)と社協が連携し、生産者が育てた野菜等が食品ロスにならないように有効活用する取り組みをおこなっています。

頂いた野菜等は、生活に困っている世帯に支援し大変喜ばれています。



また、ご家庭で眠っている食品、農家の皆様においては規格外等で販売できない野菜や果物、家庭菜園をされている方で余っている野菜などありましたらぜひ寄付をお願い致します。



令和3年度

## 虐待防止研修会(事業所向け)開催しました

10月26日(火)、甲斐市内福祉サービス事業所の職員を対象に利用者の方への接し方、関わり方について日常の支援を振り返りつつ、現場において改めて意識をもち、「より良い支援」をしていただくことを目的とした虐待防止研修会を開催しました。講師の指導による参加型のグループワーク等を通じ、支援者自身の振り返り等を行い、職員として、施設全体として本人・家族に対する向き合い方など、今後もより良いサービス提供できるための学びの機会となりました。

研修会  
の様子



上記、開催した研修会以外にも住民向け研修会なども取り組んでいます。

甲斐市障がい者基幹相談支援センター

☎055-267-7010 ☎055-277-1284 ✉kikan@kaishakyo.or.jp

## ご協力ありがとうございました (順不同・敬称略)

### ● 食料寄付

【寄付期間：9月1日～11月30日】

(個人) 岩田きみ江、樋口ひろ子、仙洞田信行、功刀千斗夫、西澤孝二、河西幸恵、中村こはる、望月圭子、窪田千穂、小田切一正、天野好子、長田憲男、小松昇、乙黒勝弘、勝村忠治  
(企業・団体) 明治安田生命保険相互会社 韮崎営業所、甲斐北ライオンズクラブ、双葉農の駅、甲斐市老人クラブ連合会、甲斐市役所職員有志

### ● 寄付金のご紹介 (敬称略)

多額の寄付をいただきありがとうございます。  
ご寄付いただいた浄財は、地域福祉事業に有効に使わせていただきます。

- 三井敏夫(故三井訓造 甲斐市社会福祉協議会初代会長の親族)・・・300,000円
- 甲斐北ライオンズクラブ・・・・・・・・・・・・・・・・・・50,000円
- 甲斐市赤十字奉仕団・・・・・・・・・・・・・・・・・・47,432円



甲斐北ライオンズクラブ

# クラウドファンディングにご協力いただき ありがとうございました

令和3年度、初めての試みとしてクラウドファンディングに挑戦し、市内の方をはじめ、県外からも多くの方からご賛同をいただきました。

いただいた支援金についてはこども支援事業に大切に使用させていただきます。

寄付期間 令和3年7月13日(火)～9月25日(土)  
 目標金額 2,000,000円  
 寄付金額 1,235,791円  
 (クラウドファンディング 312,000円、現金支援 923,791円)  
 達成率(%) 61.8%



## 夏休みこども支援事業

児童扶養手当受給世帯延べ388世帯に食料・生活用品購入券を支援しました。

支援期間 令和3年8月2日(月)～20日(金)  
 令和3年9月1日(水)～10日(金) (追加支援)



### 支援品(1世帯)あたり

お米、レトルト食品、ホットケーキミックス、缶詰、お菓子、ジュース等、生活用品購入引換券(生理用品、トイレトペーパー、ティッシュペーパー、ベビー用紙おむつ)



## 子ども食堂事業

児童扶養手当受給世帯の児童・生徒とその保護者を対象に子ども食堂を4回開催しました。多くの児童生徒や保護者の方に参加していただき、ハロウィンビンゴ大会やプラバンづくり、クリスマスカード作りなどの催しで交流した後、みんなで食事を楽しみました。

### 子ども食堂メニュー

カレーライス、ミートスパゲッティ、ごはんデピザ、クリスマスチキン

